

Q U A L I T Y

伝わる品質。

 Nakamotohonten



伝わる品質。 それが中本クオリティ。

情報は生きています。だから「性格」も違えば「目的」もさまざま。
私たちは、情報に込められた想いをしっかりと理解し、大切にしたい。
そしてそれらが誠実に伝わるよう、ベストな方法で表現するのが私たちの使命。
人へ、社会へ、真つすぐ伝えたい想いを、いっしょにカタチにしませんか。

- 03 ■ PRINTING__ [印刷]
- 07 ■ DESIGN__ [デザイン]
- 11 ■ DIRECT MAIL__ [ダイレクトメール]
- 15 ■ ANNIVERSARY__ [周年事業]
- 17 ■ MEDIA__ [メディア]
- 19 ■ NOVELTIES__ [ノベルティ]

ごあいさつ

人と、社会と、誠実に向き合い、 次代の価値を創造する挑戦は続く。

2009年12月、中本本店は創業90周年を迎えました。おかげさまで、総合印刷業として創業以来、この広島で、今日まで歩み続けることができました。共に歩み支えていただきましたお客さまをはじめ、関係者の皆さまとのかけがえのないご縁を誇りに思っております。今後とも皆さまのご支援をお願い申し上げます。

近年、安心・安全、地球環境保護に対する意識はますます高まり、生産や流通にかかわる情報開示・保護に関しても、これまで以上に配慮が求められています。私たちはこれらの課題に企業の社会的責任としていち早く取り組み、より良い商品・サービスの提供をはじめとし、地球環境保護への貢献、個人情報保護の管理など、次代を見据えた新たなチャレンジを実践していく環境を整えております。

これからも社訓は「誠実」です。人と社会を想う誠実な志から生まれたアイデアを、誠実に形にすることによって、お客様に喜んでいただき、社会に貢献する——それが私たちの使命です。中本本店は、総合印刷業として技術・設備の向上を図り、人から人へ、人から社会へ、「伝わる品質」を追求し続け、皆さまに期待される企業であり続けたいと考えております。

株式会社 中本本店
代表取締役 中本 俊之

中本本店 個人情報保護方針

【基本理念】

株式会社中本本店は、情報化社会発展の一翼を担う総合印刷業として、お客様からお預かりする様々な個人情報およびご本人様から直接取得した個人情報に対して保護の重要性と社会的責務を認識し、個人情報保護に関する個人情報保護マニュアルを策定して、個人情報の適切な保護と管理の徹底に努めます。

【基本方針】

1. 当社は、個人情報の取得に関して目的を明確にし、個人情報の取得、開示、訂正、削除に関して、適法かつ公正な措置を実施します。
2. 当社は、お客様から受託する個人情報の取り扱いについて管理責任者を置き、お客様が安心して当社に委託していただけるように利用、提供および開示を行い、趣旨に反した利用または第三者への提供および開示はいたしません。
3. 当社は、お客様から受託する個人情報の取り扱いについては、名簿作成や名刺作成などお客様から受託する業務に必要な範囲に限りのみ使用し、各種規定に従い、あらかじめ業務の種類毎に個人情報の利用目的などを明確にし、目的以外での使用はいたしません。
4. 当社は、社員の個人情報についても、採用選考や人事管理業務に必要な範囲に限りのみ使用し、各種規定に従い、あらかじめ業務の種類毎に個人情報の利用目的などを明確にし、目的以外での使用はいたしません。
5. 当社で取り扱う個人情報に関して、安全かつ正確な管理を実施し、不正なアクセス、滅失、き損、漏洩等に対する適切な予防措置または是正処置を講じ対応します。
6. 個人情報の処理を外部委託する場合は、当社の厳正な管理の下で行います。
7. 当社は、個人情報保護に関する日本工業規格(JIS Q 15001)に準拠した個人情報保護マニュアルおよびその他の法令、指針、規範、ガイドラインを遵守し、厳正な管理のもとで取り扱います。
8. 個人情報の取り扱いに関する苦情及び相談に対しては、問合せ窓口にて受け付け、誠実に対応いたします。
9. 当社は、個人情報保護マネジメントシステムを社員に徹底するとともに、これを定期的に監査し、個人情報保護が効果的に実施されるよう継続的に改善します。

●個人情報の取り扱いに関するお問い合わせは
社長室・お客様相談窓口 TEL 082-221-9186
E-Mail: privacy@nakamotohonten.co.jp



10190287

NAKAMOTO QUALITY #1

印刷

PRINTING

安定した品質で製品をお届けし、
ワンランク上の印刷で「伝わる」を実現。



●高性能の技術を使いこなす、印刷のスペシャリスト

フルデジタル化された最新鋭4色機や、小ロットにも対応できるプリントオンデマンド(POD)により、あらゆる印刷ニーズに応えます。

オフセット印刷では、色再現性のトラブルを防ぐためにカラーマネジメントシステム(CMS)を導入し、常に一定の色品質を保っています。さらに、一般的な175線AMスクリーン印刷ではなく、高精細な250線印刷を標準に定めており、印刷物の特徴や内容によって、250線AM印刷とFMスクリーン印刷を使い分け、一層の高品質を実現しています。

印刷を知りつくしたスペシャリストならではの技術と提案をフル活用して、お客様のさまざまな「伝えたい」をカタチにしています。

◎FMスクリーン(Frequency Modulation Screening)印刷とは?

一定の大きさの網点を分布させ、その密度によって濃淡を表現する印刷方式です。網点は20ミクロンの極小なドットで表現し、AMスクリーン印刷400線相当の高精細印刷と同等の仕上がりが可能です。

◎AM・FMスクリーンドット比較図

●AMスクリーン



●FMスクリーン



FMスクリーン印刷が
向いている印刷物

- シャープで金属の光沢が要求される「車・オーディオ・精密機械」の印刷物
- 本物の輝きを美しく表現したい「ジュエリー・ガラス製品」の印刷物
- モアレが出やすい「服地・建築資材」の印刷物
- 実物の存在感をしっかりと再現したい「美術工芸品」の印刷物
- 迫力ある表現が要求される「ポスター・カレンダー」の印刷物
- 色味の再現に気をつかう印刷物 など

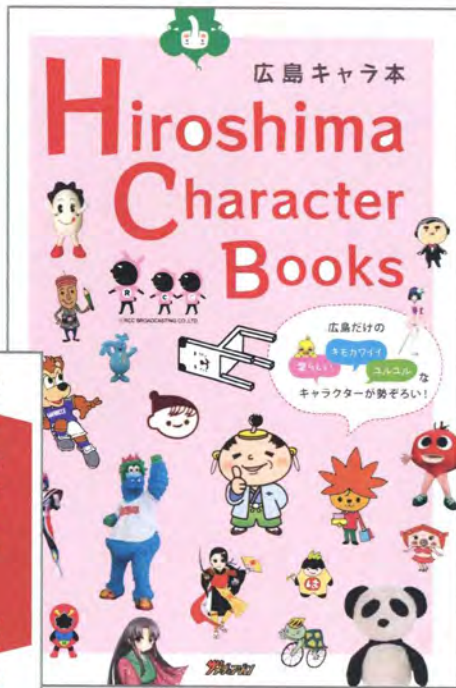


●学校案内パンフレット



●ダイアリー／飲食店

毎年、最初のページには広島県の郷土・風土をイメージしたビジュアルを使用しています。また、使いやすさを考えウィークリー(1週間)毎のページ構成にしています。



●定期情報誌



●企業名簿

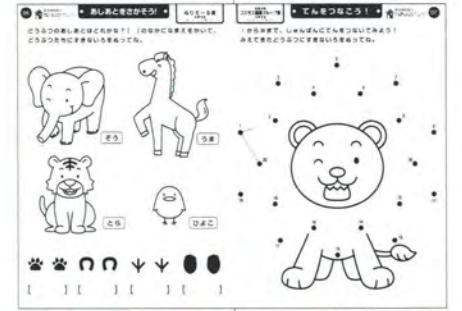


●企業ガイドブック

第32回
広島広告企画
制作賞
〔パンフレットの部〕
銀賞



●めりえーる冊子



Column/POD

IT時代に注目の高まるPOD(プリントオンデマンド)とは?

必要なものを、必要な時に、必要な形で提供。

プリントオンデマンド(POD)はIT時代の印刷方式として注目が高まっているデジタル印刷技術です。DTPなどにより作成されたデジタルデータを、製版工程を経ずに直接印刷するもので、従来のオフセット印刷に対して、

- 小ロット印刷、短納期に有利
 - 1枚毎に内容を変えた印刷(バリエーション印刷)が可能
 - ひとつのデータから通信機能を利用して複数の出力機を動かす分散印刷が可能
- などの特徴が挙げられます。少量生産品用のマニュアル、店頭POP、学習教材、短納期の新製品カタログ、小ロットごとに内容が異なるDMなどの用途に適しています。



NAKAMOTO QUALITY #2 デザイン DESIGN

メッセージを誠実に「伝える」デザイン。
消費者の心を動かす「伝わる」デザイン。



●ハイレベルなデザインで、伝えたい想いを的確に表現

デザイン一つでその企業や商品、サービスなどに対する印象は180度変わることがあるといっても過言ではありません。だから中本本店では、印刷だけでなく、その前工程であるデザインのクオリティーにとってもこだわっています。

デザインには「100%正解」という答えはありません。お客様、ディレクター、デザイナーなど、制作にかかわる人の数だけアイデアがあります。そんな無数のアイデアからベストな表現にたどり着くまでの過程で大切なこと。それは、情報やメッセージを伝える側と受けとる側、「2つの心」のバランスです。伝える側の押しつけや自己満足でなく、かといって受けとる側に過

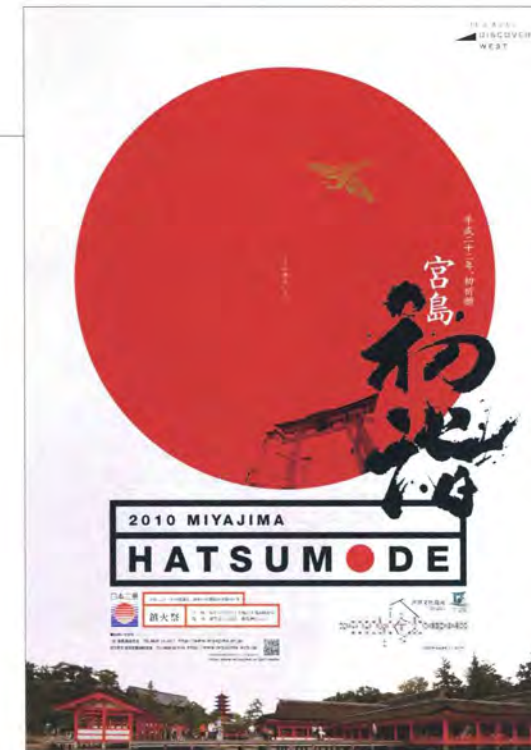
剰にあわせるわけでもない。もちろん「ウソ」「大げさ」「まぎらわしい」はタブー。デザインに必要なのは、伝えたいことを的確に表現する「誠実な主張」です。それを高いクオリティーでカタチにするのが制作スタッフたち。社内と関連会社のインフォ・エヌには、ディレクター、デザイナー、コピーライターがおり、企画から制作までサポートできる体制を整えています。

中本本店では、お客様としっかりとコミュニケーションをとりながら、「何のために、いつ、どこで、誰に、何を」伝えたいのかをおうかがいし、情報を整理します。そして、それらを「どのように」カタチにし、実行するのかを考えます。それを基に営業と制作スタッフがいっしょに

なってアイデアを出しあい、コンセプトを決定。サイズや形などの形状から写真、色づかい、文章などをご提案し、調整を繰り返しながら、ハイレベルな「伝わる」デザインへと成長してゆきます。

◎制作スタッフの種類

- ディレクター
広告全体の企画やデザインコンセプトを決定し、制作スタッフの取りまとめを行う、総合演出的職種。
- デザイナー
文字や画像、配色などを効果的に用いて様々なデザインやイメージなどを創作する職種。
- コピーライター
広告に使用する文言（コピー）を書く職種。企業や商品の「何を伝えるか」「どう伝えるか」を論理的に構築する。



●観光ポスター

第31回
広島広告企画
制作賞
[ホスターの部]
金賞

●大学学部案内パンフレット

人と未来と
地球をつなぐ。



人間環境学部
2012 HIROSHIMA SHIKU UNIVERSITY

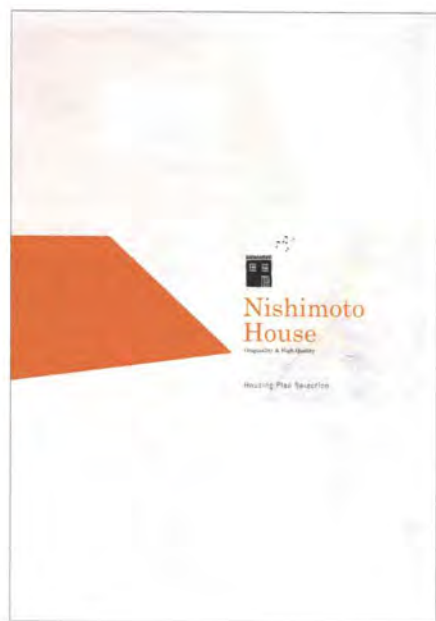




●人権啓発 パンフレット



●住宅パンフレット



●イベント案内ポスター



●イベント案内チラシ

Column / 株式会社インフォ・エヌ

中本本店のデザインを支える情報創造集団、「インフォ・エヌ」。
単純なグラフィックデザインの質感表現だけに留まらず、いつの日も新しい価値を創造していきます。



株式会社インフォ・エヌは、平成10年11月1日、それまでの中本本店デザイン室から分離独立し、より高度な、より自由な広告制作を目指してきました。デジタルが、ハードやソフトを激変させ、進化する技術があらゆる表現を可能にしている昨今、クリエイターに要求されることは、「アイデア(発想)」です。そのニーズに応えるためにインフォ・エヌは、中本本店との強力なタッグのもと、「自分自身が感動できる」デザインを探し求めて、新しい価値を創造していきます。



info-N会社案内

株式会社 インフォ・エヌ

所在地 広島市中区東白島町13-15
連絡先 tel.082.228.2018 fax.082.228.6217
E-mail info@info-n.co.jp

代表者 代表取締役社長 中本俊之
設立 平成10年11月1日

従業員 8名

- 営業内容
1. ポスター、パンフレット、リーフレット、DMなどの広告・宣伝の情報媒体の企画制作
 2. 各種マーケティングプランニング及び、企業経営に関するコンサルタント
 3. キャラクターの企画、販売
 4. 映像、音楽及びマルチメディア関連の企画、制作等
 5. インターネット関連

NAKAMOTO QUALITY #3
ダイレクトメール

DIRECT MAIL

消費者の心にダイレクトに響く。
「伝わる」DMには理由があります。



●思わず開きたくなるアイデアで、確実に伝える

近年、業種や業態を問わず、さまざまな広告主の方から依頼が増えているものがあります。それは、DMを含めたダイレクトマーケティングを切り口としたプロモーションの企画提案です。その内容は、

- ◎どのように情報を発信したら良いか
 - ◎アプローチ方法は今のままで良いか
 - ◎ほかにもっと効果的な方法はないか
 - ◎マスメディア中心の販促以外に、顧客動向を把握したうえで適切なアプローチを導入できないか
- というものです。また、
- ◎どうすれば売上を伸ばせるのか
 - ◎どのようにすれば利益を増やせるか

といったストレートなご相談もあります。

いずれにしても、プロモーションの最終目的は売上アップ、利益アップにあります。それが健全に実現できてこそ、さらなるサービスの向上が可能になり、顧客満足、さらには地域社会への貢献、企業価値の向上につながってゆくといえます。

中本本店では、さまざまな悩みを解消する効果的な方法の一つとして「ダイレクトメールマーケティング(DMM)」の手法を用いた、ダイレクトメールによる販売促進を提案しています。

お客様としっかりコミュニケーションをとりながら、ターゲットや目的にあわせて伝えたい

情報、伝えるべき情報を整理し、企画提案から制作、印刷、発送までしっかりサポート。トータルでプランニングできるのが、中本本店の強みです。

印刷にかかわることだけでなく、そこに至るまでのアイデアも、ぜひ有効活用してください。



効果があるDMには理由がある!?



封筒



パンフレット(表紙)

●会員向けの特別ご招待誘導用DM(ちゅービー便)

封筒にチラシを入れるだけのDMではなく、パンフレット形状で作成することで顧客に内容をしっかりと訴求します。また、封筒サイズも従来の定形サイズから角6(B5相当)に変更し、他DMとの差別化を図っています。



チラシ



パンフレット(中面)



●会員向けの店舗リニューアル告知用DM

リニューアルした店舗イメージカラーの深緑を基調に、シックなデザインを追及することで、会員だけのプレミアム感を醸し出しました。



リーフレット

挨拶文



●特定地域への新規顧客獲得用DM(タウンプラス)

企業イメージカラーの赤・黄を基調に、居住近くにトランクルームがあるという認知度をあげると共に、トランクルームの利点がわかりやすく伝わるようデザインしています。特典を付けるとともに、スクラッチを削るといった仕掛けを用い、趣向を凝らしています。



封筒

●顧客向けのイベント告知用DM

高級ジュエリーの展示会にふさわしく、黒を基調にしたデザインでプレミアム感を出しました。そこにビビッドな花を合わせてコントラストを高めることで、展示会の持つ華やかさを演出し顧客に訴求します。

●各種大判ハガキDM



Column / タウンプラス

新規顧客獲得に有効なメディアとしての「タウンプラス」。

タウンプラスとは、宛先がなくても指定したエリア(町・丁目)の全世帯に届く郵便物です。



メリット.1

宛先がいない!

宛先・宛名がなくてもダイレクトメールとして郵便物が届くため、顧客リストを持っていないでも地域顧客へDMを送付できます。個人情報を取り扱うリスクなしでダイレクトメールが実施できます。

メリット.2

全世帯に配付できる! ⇒必ず届く!

折込チラシは新聞購読している人の手元には届きません。タウンプラスは新聞購読をしていない人にも必ず届きます。(例:1人暮らし)通常のポスティングでは、全世帯にもれなく配付できるかは疑問。また、セキュリティの高いマンションには配付されません。タウンプラスは郵便局員が郵便物としてお届けするため、確実に全世帯に配付されます。※到達率ほぼ100%

メリット.3

開封率の高いダイレクトレスポンス広告である!

折込チラシのように他社のチラシに埋もれてしまうことなく、ダイレクトメールとして確実に届きます。また郵便物として配付されるため、開封率が高いことが特徴です。

顧客リストがなくても、ターゲットエリアの中の全世帯に確実にダイレクトメールとして届く郵便物。

それがタウンプラスです!

NAKAMOTO QUALITY #4

周年事業

ANNIVERSARY

軌跡をたどることで未来への道筋を知る。
企業の歴史と夢が「伝わる」プロジェクト。



●長いドラマをコミュニケーション用にダイジェスト

近年、企業を取り巻く環境はかつてないスピードで変化、多様化しており、企業は常に多くの課題を抱えています。それらを解決するためには、過去の経験や従来の手法にとらわれず、新しい仕組みづくりや新しい企業コミュニケーション活動に取り組む姿勢が求められます。また、意識改革や業務改革など、社内の力を結集するための多大なエネルギーが必要となります。その「変革のエネルギーを生み出す絶好のチャンス」となるのが「周年事業」。新しい時代に対応する戦略的事業として、また企業価値と企業力を構築する試みとして、今「周年事業」が見直されています。

周年事業の代表的なものに「社史の制作」

があります。その編集作業は数年単位の長期にわたることも多く、一企業で経験やノウハウを蓄積できるチャンスは頻繁にはありません。中本本店は大正時代から数多くの社史・年史を手がけてきたエキスパートとして、各企業、官公庁、学校などの社史・年史の編集を積極的に支援してきました。また、最近発行された社史の傾向や制作に当たっての注意点なども分析しています。これらのノウハウを生かして、単に「〇周年を迎えたから」という理由だけではなく、「誰に、何を、どのように」伝えるかを明確にし、コーポレートコミュニケーションツールとして有効に機能するような社史・年史の制作をご提案します。

勝ち残りをかけた新事業展開や、近未来像とソリューションの提示など、コーポレートブランド戦略を実現するコミュニケーションの一つとして、周年事業を検討されてはいかがでしょうか。

●周年マークの一例



●30周年記念誌

膨大な資料を記念誌本体の中に掲載せずに資料編として別冊DVDに収録。さらに、記念式典や記念講演会の映像をビデオDVDとして別のDVDに収録。合計3冊冊化しています。



●100周年記念誌

表紙にはスクールカラーのオレンジを使用し、紙（オレンジ）+布地（ページュ）の材質になっています。本文は読みやすさと新しさを考慮し、濃紺の文字で印刷しています。スタイリッシュで気品を感じる作品に仕上がりました。

●100周年記念誌



NAKAMOTO QUALITY #5

メディア

MEDIA

メッセージを誠実に「伝える」デザイン。
消費者の心を動かす「伝わる」デザイン。



●メディア同士のコラボレーションで、もっと効果UP

1990年代にインターネットや携帯電話などが急速に普及したことによって、広告のあり方は大きく変化しました。中本本店でも紙以外のメディアを利用したプロモーション活動を積極的にご提案しており、新聞や雑誌などの紙媒体だけでなく、テレビ、ラジオを含めたトータルコミュニケーションの企画立案を手がけるようになって久しく経ちます。

ネットワークメディアと呼ばれるウェブ、中でもパーソナルメディアと呼ばれる電子メールやモバイルは私たちの暮らしにすっかり浸透し、ニーズや利用方法は多様化しています。これらの新しいメディアが登場したことで広告の可能性は限りなく広がり、同時に、これらを

使いこなし、各メディアのメリットを十分に引き出すためには、柔軟な発想力や高度なスキル、また情報を受信・発信する際の責任が以前にも増して求められます。

私たちは印刷会社として紙媒体のさらなる可能性を追求することはもちろん、紙媒体だけにこだわらず、各メディアの特性とお客様のニーズをマッチングさせ、クロスメディアの手法を取り入れた企画立案やプログラミング作業を含めた制作全般について、あらゆるご相談、ご要望にお応えします。そして、あくまでも「伝わる品質」にこだわり、お客様にとってベストなプロモーション活動をご提案することで企業の発展に貢献する、これが私たちの使命だ

と考え、その使命を果たすために、時代の流れを見極めながら新しい試みにも積極的にチャレンジしていきます。

◎紙媒体以外のメディア例

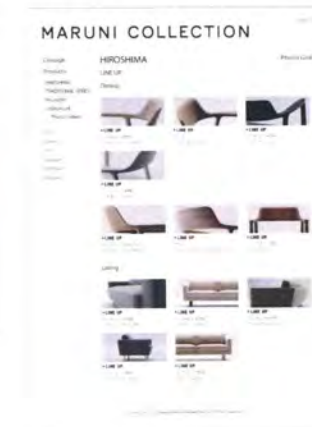
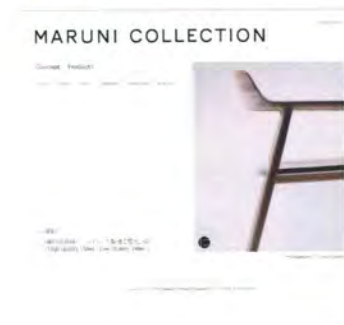
- TV、ラジオ
- 交通広告(ラッピングなど)
- 屋外広告(看板、大型ビジョンなど)
- デジタルサイネージ
- WEB
- モバイル
- メール
- 映像・音声メディア(CD、DVD、BDなど)など



●WEB/飲食店

写真を多く使い、見る人が具体的にイメージできるよう配慮しました。各店舗毎のページも作成し、それぞれの特徴を紹介しています。また、広島のお老舗飲食店として、県外のお客様に広島のお店を紹介するための観光マップも作成しています。

●WEB/家具メーカー



NOVELTIES

NAKAMOTO QUALITY #6
ノベルティ

趣向を凝らして消費者の感性をくすぐる。
「伝わる」ノベルティがいっぱいです。

あらゆるシーンで活躍するノベルティ。デザインを工夫したり、さりげなく仕掛けを施したり、アイデア次第で消費者への伝わり方はグンと変わってきます。

中本本店では、コスト重視のベーシックなものから、遊び心やこだわりが詰まったオリジナリティあふれるものまで、もらってうれしい「伝わる」ノベルティをご提案します。



●各種クリアファイル

●キーホルダー (DM用)



マジックコインキーホルダー
中に入れたコインを取り出して遊ぶ
キーホルダーです。



●うちわ (引っ張ると絵が変化します)



●ハリセンス



●うちわ (表面にプチプチがついています)



●あぶらとり紙



●マウスパッド

●携帯ストラップ



●不織布バッグ

広島市立大学
HIROSHIMA CITY UNIVERSITY

NAKAMOTO QUALITY @WEB



中本本店のHPは、弊社がお客様に提供できるサービスや各メディアの実績紹介、受賞歴などを掲載しています。



株式会社中本本店

〒730-0004 広島県広島市中区東白島町13-15
TEL.082-221-9181(代) FAX.082-227-5129
<http://www.nakamotohonten.co.jp>
E-mail:honten@nakamotohonten.co.jp

■会社概要

| | |
|------|---|
| 名称 | 株式会社中本本店 |
| 本社 | 〒730-0004 広島県広島市中区東白島町13-15 TEL 082-221-9181(代) FAX 082-227-5129 |
| 資本金 | 4,500万円 |
| 創業 | 大正8年12月1日 |
| 設立 | 昭和13年12月1日 |
| 従業員 | 91名 |
| URL | http://www.nakamotohonten.co.jp |
| 関連会社 | 株式会社インフォ・エヌ(企画・デザイン制作) 〒730-0004 広島県広島市中区東白島町13-15-3F TEL 082-228-2018 FAX 082-228-6217 |
| 営業種目 | 企画・デザイン・オフセット印刷・オンデマンド印刷・製本・メディア作成 |
| 営業品目 | カタログ・ポスター・DM・チラシ・会社案内・入社案内等パンフレットの企画、デザイン・周年事業関連(記念誌・社史)・PR誌・社内報・自費出版等出版物の企画、編集・機密情報(セキュリティ)関連・オンデマンドプリント(POD)・カレンダー・手帳・シール等の企画、デザイン・デジタルメディア関連(WEBページ・WEBシラバス・DVD・デジタルサイネージ・TV・CM等の企画、制作)・各種ノベルティグッズの企画、デザイン |
| 加盟団体 | メディアユニバーサルデザイン協会 広島広告協会 広島市スポーツ協会(賛助会費) ひろしま産業振興機構(賛助会費) 広島観光コンベンションビューロー(賛助会費) 他 |

■会社沿革

| | |
|---------|---|
| 大正8年12月 | 中本印刷所として広島市上柳町において故中本勝三を以って創業 |
| 昭和7年5月 | 工場狭隘のため広島市堺町(元塚本町)に新築移転 |
| 13年12月 | 資本金15万円の株式会社に組織変更し故中本勝三が社長に就任 |
| 16年12月 | 江田島海軍兵学校の監督指定印刷工場となる |
| 19年4月 | 鉄道省の監督指定工場となる |
| 20年8月 | 原爆被災により全工場焼失 |
| 21年7月 | 現在地に工場新築移転 |
| 40年8月 | 鉄筋3階建の事務所新築 |
| 43年12月 | 狭隘のため工場の一部4階と事務所を4階に増築(第3期) |
| 44年10月 | 平版印刷部門・写真製版設備設置 |
| 45年2月 | 企画室設置 |
| 51年1月 | 資本金4,500万円に増資 |
| 60年5月 | 電算写植設備設置 |
| 61年2月 | デザイン部門企画室より分離設置 |
| 平成3年5月 | 電算出力機2台目設置 |
| 平成6年8月 | 写真製版設備(カラー製版)増強に伴い西白島町にデザイン部・電算部とともに分離設置 |
| 10年11月 | デザイン部門分離独立 新会社「株式会社インフォ・エヌ」設立 |
| 14年5月 | 鉄筋3階建ての新館を増築。分離設置していたシステム課を新館で再構築し、短納期・高品質に対応するべくデジタルワークフローに着手 |
| 14年6月 | マルチメディアに特化したデジタルソリューション課を設置 |
| 14年9月 | ハイデルベルグ社製「CD102-4」導入、「Image Control」で正確な色再現性を実現。データの作成から印刷までを含めたデジタルトータル管理が可能となる |
| 16年12月 | コンピュータ制御による折り加工機、正栄機械製「オリスター」導入 |
| 16年12月 | ハイデルベルグ社製「SM102」導入 |
| 17年11月 | 個人情報保護法に基づき、プライバシーマーク取得 |
| 18年7月 | FMスクリーニングによる高精細印刷とより広い色域を再現できる広演色印刷 カレイドグラフを開始する |
| 19年1月 | 本館外装を全面リニューアル。シンボルマーク・ロゴタイプも一新。個人・機密情報保護のためセキュリティシステムを導入 |
| 19年2月 | 情報保護室を新造 |
| 20年6月 | 高速モノクロPODを導入 |
| 21年7月 | 高速カラーPODを導入 |
| 21年8月 | FSC認証取得 |
| 22年1月 | 印刷工場内の工事によりセキュリティをさらに強化。また、情報保護室を増設 ぬりえーる(http://www.nurieru.com)開始 |
| 22年9月 | |
| 23年1月 | ウェブテック社製 印刷品質検査装置を導入 |